

# イオ3月号!

イオ3月号ができあがりました。

先日お伝えした通り、3月号の特集は「明日へつなげる—3.11の記憶—東日本大震災から10年」です。あの悪夢のような大震災から10年…あつという間だったところもあり、原発に関することなどはまだまだ進んでいない面もあり…あの震災をきっかけに生活が大きく変わった方や、13日深夜の地震で10年前が蘇ったという方などそれぞれ様々な思いとともに10年目の3月を迎えようとしています。

イオ3月号を開くと寄宿舎を改築した校舎前に勢ぞろいした東北ハッキョの子供たち、そして次のページから「岩手」「宮城」「福島」の同胞たちがこの10年間をそれぞれの立場から振り返っています。「福島」のページには浜通支部委員長、副委員長、以前双葉郡に居住していて震災後郡山で商売を再開した李益正さん家族がインタビューに答えています。

また、ハッキョの現在、ハッキョを支援する人々、東北に住む若い世代などにも福島県のトンポたちが多数登場しています。

他にも「イオインタビュー」は福島県在住の柳美里さん、「記者のアルバム」は福島県浜通りとこんなにも福島県が多く取り上げられるのも珍しいことと思います。

他県が紹介されているページでも東北朝高を卒業した同胞たちが出ているので「知っている人」を見つけるのも楽しみです。

現在各支部で配布中です。まもなくお手元に届くはず。楽しみにお待ちください。

## シンポの取材が行われています

先日のイオに続いて「朝鮮新報」の取材が月曜日から行われています。

内容はイオと同じく「震災後10年目を迎えて」というテーマです。新報社記者は3日間にわたって県内の会津、中通、浜通の各地を訪ねてそこに住む同胞たちから生の声を聞くことができたと話していました。

新報の記事にウリ福島トンネがどのように紹介されるのか…こちらも今から楽しみです!

## ハッキョの学習発表会は今週です

ハッキョの学習発表会は今週の金曜日26日に行われます。

「子供たちは卒業してしまったし…関係ないから行かないわ」なんて言わないでどなたでも遠慮なくお越しください。

学生たちは本番目指して毎日練習に励んでいます。

練習の成果にご期待ください。尚、毎年恒例の「そば打ち体験」は行われません。

2021年2月26日(金) 11時~12時

場所 食堂

## 今週の放射線量

(ハッキョ自動測定器)

15日(月)	0.091
16日(火)	0.088
17日(水)	0.086
18日(木)	0.084
19日(金)	0.078
20日(土)	0.086
21日(日)	0.082